

令和5年度

事業計画書

令和5年4月1日から
令和6年3月31日まで

公益財団法人 太田記念美術館

I 公益目的事業

1. 浮世絵に関する展覧会の企画および開催

太田記念美術館において下記のとおり6つの展覧会を開催する。

令和6年1月から3月末まで休館し、大規模改修工事を行うため、開館期間は9ヶ月となるが、新型コロナウイルス感染症の流行による外出自粛等の影響は徐々に弱まって、入館者数が復調の傾向にあること、当館の所蔵作品の中でも極めて人気の高い「吉原格子先之図」や、多数の集客が見込まれるネコの展覧会を行うことから、目標入館者数は令和4年度の目標47,000名よりも6,000名多い53,000名とする。

① 特別展 江戸にゃんこ 浮世絵ネコづくし

前期：令和5年4月1日～4月25日 後期：令和5年4月29日～5月28日

開催日数：47日間

入館料：一般1,200円、大高生800円、中学生以下無料

ペットとして可愛がられている猫から、化け猫、擬人化された猫まで、浮世絵に描かれたさまざまな猫の姿を紹介する。令和2年9月から11月にかけて開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により延期となり、約3年を経ての開催となる。

② ポール・ジャクレー フランス人が挑んだ新版画

前期：令和5年6月3日～6月28日 後期：令和5年7月1日～7月26日

開催日数：44日間

入館料：一般1,000円、大高生700円、中学生以下無料

フランス人浮世絵師ポール・ジャクレーによる、アジアや南洋の人々を鮮やかな色彩で描いた新版画を紹介する。当館でジャクレーを取り上げるのは今回が初となる。

③ 歌川広重 山と海を旅する

令和5年8月1日～8月27日

開催日数：24日間

入館料：一般800円、大高生600円、中学生以下無料

旅をテーマとして、歌川広重が描いた日本各地の山や海の風景画を、揃物「山海見立相撲」を中心に紹介する。

④ 美人画 麗しきキモノ

前期：令和5年9月1日～9月24日 後期：令和5年9月30日～10月22日

開催日数：41日間

入館料：一般800円、大高生600円、中学生以下無料

春信、歌麿、国貞など美人画の名手が描いた作品を、衣服の着こなし、髪型およびその変遷に着目して紹介する。

⑤ 葛飾応為「吉原格子先之図」 一肉筆画の魅力

令和5年11月1日～11月26日

開催日数：23日間

入館料：一般1,000円、大高生700円、中学生以下無料

3年ぶりの公開となる葛飾応為の「吉原格子先之図」をはじめ、さまざまな浮世絵師による肉筆画の魅力を紹介する。

⑥ 浮世絵入門（仮）

令和5年12月1日～12月24日

開催日数：21日間

入館料：一般1,000円、大高生700円、中学生以下無料

江戸時代の庶民にとって身近な娯楽であった浮世絵の楽しみ方を、美人画、風景画、戯画など幅広いジャンルの作品を展示し、分かりやすく紹介する。

（開催予定日数は200日、展覧会名は仮称）

2. 浮世絵その他の美術品の収集、保存

- 1) 収蔵品の体系的、通史的なバランス、展示計画を考慮の上、新たな美術品の収集を行うとともに保安全管理を的確に行い、必要に応じて補修を行う。
- 2) 浮世絵版画は光に弱く、展示により退色が進むため、作品の展示期間を厳正に管理する。また、温湿度管理、照度管理を厳格に行い、作品保護に努める。
- 3) 美術品目録と美術品現物との照合を行う予定である。新型コロナウイルス感染症予防の観点から延期としていたが、今後の状況に即して、実施に努める。

3. 浮世絵美術ならびに江戸文化の啓蒙普及活動

1) 講演会等の開催

① 下記の講座の開催を予定している。

ア) 江戸文化講座

江戸の文化について、浮世絵にとどまらず多様な角度から捉えた講座を開催。

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、令和2年度以降中止としていたが、感染予防に配慮しながら、3年ぶりの開催を予定している。

イ) 夏休み子ども講座

小中学生とその保護者を対象に、浮世絵の摺りを体験するワークショップを開催。

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、令和2年度以降中止としていたが、感染予防に配慮しながら、3年ぶりの開催を予定している。

ウ) 特別講座等

展覧会関連講演会、若手の浮世絵研究者による講演会等を開催

②学芸員によるスライドトーク

展示作品をより深く理解し、浮世絵を身近に感じてもらうことを目的として、担当学芸員によるスライドトークを開催する（会場の都合上、江戸にゃんこ展、浮世絵入門展（仮）は開催なし）。

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、令和2年度以降中止としていたが、令和4年5月より、感染症対策に配慮しつつ、人数制限を行ったうえで再開している。

③日曜映写会

浮世絵の歴史、伝統文化を紹介する映像資料などの上映会を定期的で開催する。

2) 青少年への教育普及活動

青少年への教育普及活動の一環として、美術鑑賞の機会を幅広く提供するため、中学生以下の入場料を無料としている。

3) 年間パスポート制度

来館者へのサービスの向上および浮世絵美術の普及を目指し、「太田記念美術館年間パスポート」制度を実施する。

令和3、4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、展覧会の開催が中止、変更となる可能性を考慮して募集を中止していたため、2年ぶりとなる。

令和5年度より会員特典内容を見直し、当館オリジナル商品の割引購入対象を拡大する。また、会員証提示により入館料割引サービスを受けられる提携美術館を増やし、会員制度の充実を図る。

4) 館外協力

①教育機関への協力

学校等からの要望に応じて、学芸員による展示解説、講義等、美術鑑賞教育を行う。

団体での入館受け入れは、令和4年度より予約制にて再開しているが、混雑が予想される展覧会では、展示室内混雑緩和のため、団体見学等は原則中止とし、希望する教育機関と相談の上、可能な限りの対応とする。

②他機関への協力

ア) 作品貸出協力

当館の周知および浮世絵美術の普及を目指し、美術館、博物館等からの作品貸出の要請に対し、作品の状態や展示計画を考慮の上、可能な限り協力する。

イ) 写真資料貸出協力

美術館、博物館、大学等の研究機関への貸出を通じて芸術文化の振興に寄与する。

③調査研究依頼への協力

美術館、博物館、大学等の研究機関からの作品特別観覧の要請に対し、可能な限り協力する。

5) 生涯学習活動への対応

生涯学習センター等の民間組織、団体見学者等に対して、学芸員による展示解説、講義等、美術鑑賞教育を要望に応じて行う。

団体見学の入館受け入れは、令和4年度より予約制にて再開しているが、混雑が予想される展覧会では、展示室内混雑緩和のため、団体見学等は原則中止とし、可能な限りの対応とする。

6) 広報活動

美術館および展覧会のPRを幅広く行い、浮世絵美術の普及広報に努める。

①マスメディア

- ・展覧会PR資料の送付、取材への積極的な対応、写真資料等の貸出など、展覧会および美術館の広報を行う。

- ・各展覧会において記者内覧会を予定している。担当学芸員が館内にて見どころや作品解説を行い、展覧会開催の効果的かつ幅広い周知を目指す。

②特別内覧会

「江戸にゃんこ 浮世絵ネコづくし」展において、美術関係者を招待し、特別内覧会を予定している。他の展覧会についても順次検討していく。

③印刷物の作成・配布

展覧会のポスター・チラシ、講座等催事案内チラシ、年間展示案内、浮世絵研究助成募集チラシ（日本語・英語）などを作成し、館内にて掲示、配布するとともに、美術館、博物館、教育機関、公共機関等への配布を行い、展覧会、催事の周知に努める。

④ウェブサイト、ソーシャルメディア等の活用

◇ウェブサイト

利用案内、展覧会および講演会等の開催情報、浮世絵研究助成、さらに図録・研究紀要等の出版物についての情報を、美術館ウェブサイトにて提供する。

◇Twitter

- ・展覧会、催事等の情報を積極的に発信することにより、口コミによる集客力の向上および幅広い年齢層への認知度向上に努める。
- ・展示作品にとどまらず、季節や身近な話題に合わせた浮世絵を、収蔵品を中心に紹介し、浮世絵関心層の発掘に努める。
- ・他館の展覧会情報について日本美術を中心に告知し、美術館・博物館業界全体の普及活動に貢献する。

◇note

メディアプラットフォーム「note」を活用し、浮世絵に関するコラムや展覧会紹介記事等を掲載することにより、浮世絵ファン層の拡大および美術館認知度向上に努める。また、来館が叶わなくとも展覧会を楽しむことができるよう、「オンライン展覧会」と銘打った有料記事を発信する。オンライン展覧会の具体的内容は「5. 浮世絵等の資料収集・整備、調査研究および出版」に記載。

7) 他館との連携

- ①千葉市美術館と連携し、太田記念美術館年間パスポート会員・千葉市美術館友の会会員の相互割引サービスを引き続き行う。
- ②サントリー美術館と連携し、太田記念美術館年間パスポート会員・サントリー美術館メンバーズクラブ会員の相互割引サービスを、令和5年度より開始する。
- ③山種美術館と連携し、展覧会入場料相互割引サービスを引き続き行う。

8) 地域との連携

- ①東京都や他団体が行う観光事業等に協力し、芸術文化の拠点として地域の活性化に貢献する。
- ②JR 渋谷駅、恵比寿駅、原宿駅を結ぶエリアの文化施設連携事業「あ・ら・かるちゃー」に引き続き参加する。館内にて紹介冊子を配布、入館料の相互割引等に協力するほか、運営会議等へ出席し、他施設との情報交換を行う。

9) ミュージアムグッズ等の製作・販売

- ①来館の記念となり、また、来館者が商品購入を通じて美術に親しみ、関心を深めるためのミュージアムグッズを製作・販売する。
- ②復刻浮世絵版画および美術鑑賞の手助けとなるような関連書籍等の受託販売を行う。

4. 浮世絵研究者の育成および助成

1) 研究助成

内外の新進浮世絵研究者育成のため、毎年「浮世絵研究助成」の公募と選考を行っている。研究活動に対し助成を行うことにより、浮世絵の一層の普及・発展を通じて芸術文化の振興に寄与することを目指している。

募集要項を記載したポスター（日本語・英語）を館内掲示のうえ、案内チラシを主要研究機関等に発送するとともに美術館ウェブサイト（日本語版・英語版）に募集要項を掲載し、広く募集を行う。

入選者の助成による研究成果に基づいた論文は『太田記念美術館紀要 浮世絵研究』に掲載する。

2) 若手浮世絵研究者の講演会開催

研究成果発表の機会を提供することにより、研究活動の支援ならびに研究者相互の交流を図るため、若手の浮世絵研究者による講演会を開催する。

5. 浮世絵等の資料収集・整備、調査研究および出版

1) 作品の調査研究

収蔵品および個人、団体所蔵の関連作品の調査研究を行い、その成果を展覧会、研究紀要等にて発信する。

2) 資料・図書の充実

①収蔵品の調査研究、図録制作のため写真撮影を行う。

②主要収蔵品のデジタルデータ化を進める。

③展覧会開催および調査研究に必要な図書資料等を収集する。

④新収蔵品について作品情報データベース、美術品目録、作品カードの整備を遅滞なく行う。

3) 展覧会図録等の刊行

①以下の展覧会の開催にあわせ、図録を刊行する。

・「江戸にゃんこ 浮世絵ネコづくし」

②以下の展覧会の開催にあわせ、ブックレットを刊行する。

・「ポール・ジャクレー フランス人が挑んだ新版画」

③『太田記念美術館紀要 浮世絵研究』第14号を刊行する。

④以下の展覧会の開催にあわせ、メディアプラットフォーム「note」を利用し、「オンライン展覧会」と銘打った有料記事を発信する。基本的に実際の展覧会に出品の作品画像および解説等を掲載し、記事の料金は美術館入館料と同一に設定する（システムの関係上一律、一般の入館料と同一に設定）。

・「歌川広重 山と海を旅する」

・「美人画 麗しきキモノ」

・「葛飾応為「吉原格子先之図」 一肉筆画の魅力」

・「浮世絵入門（仮）」

6. 美術館の運営

1) 大規模改修工事

令和6年1月から3月末まで休館し、以下の工事を行う。

- ① 美術館外壁および屋上等の改修工事
- ② 空調設備の更新工事

2) 保全管理

① 来館者が安全、快適に過ごせるよう、適切な保全管理に努める。

② 新型コロナウイルスに関連した対応

- ・「博物館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」（公益財団法人日本博物館協会）に沿い、感染対策等を行う。
- ・感染拡大の状況によっては、来館者および関係者の健康・安全面を第一に考慮し、臨時休館、開館時間の短縮、展覧会スケジュールの変更、講座・イベントの中止等を行う可能性がある。

II 収益事業

1. 美術館建物の一部を店舗として賃貸する事業

公益目的事業に必要な財源を確保するため、美術館地下の一部を引き続き株式会社かまわぬに貸店舗として賃貸する。

以 上